

## 平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイ・オー・データ機器  
 コード番号 6916 URL <http://www.iodata.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室 室長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 細野 昭雄  
 (氏名) 真田 秀樹

TEL 076-260-3377

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	8,968	15.9	275	—	331	—	239	—
25年6月期第1四半期	7,740	△15.8	△608	—	△579	—	△1,468	—

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 140百万円 (—%) 25年6月期第1四半期 △1,521百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	18.22	—
25年6月期第1四半期	△109.63	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第1四半期	25,928	18,363	69.8
25年6月期	26,654	18,280	67.6

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 18,092百万円 25年6月期 18,019百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	14.1	600	—	650	—	450	—	34.00
通期	40,500	10.4	1,100	76.0	1,200	124.9	900	—	68.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期1Q	14,839,349 株	25年6月期	14,839,349 株
② 期末自己株式数	26年6月期1Q	1,740,052 株	25年6月期	1,604,352 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期1Q	13,156,231 株	25年6月期1Q	13,399,247 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策等の効果により、円安や株高が進み、景況感に回復の兆しが見られましたが、世界経済の減速等の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループに関係するデジタル家電市場では、スマートフォンやタブレット端末関連が好調に推移している他、パソコン市場では法人を中心に平成26年4月のWindows XPのサポート終了を控えた更新需要が顕在化し始めました。しかしながら、個人向けパソコンやTV関連需要の不振から、全般には低調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、設立以来38年に亘り使用してきたコーポレートロゴをリニューアルし、新生アイ・オー・データ機器として経営体質の変革を始動いたしました。

売上高については、新たなデジタルライフやビジネスシーンを支える魅力的な商品・サービスの拡充を加速し、積極的な拡販と需要創造に努めた結果、前年同期を上回りました。

利益面は、増収による影響に加え、前連結会計年度の経営合理化を経て経費の圧縮が進み、堅調に推移しました。また、円安にともなう原価の上昇に対して、採算性を重視した事業展開が概ね有効に機能しました。前年同期との比較においては、前年同期では販売価格の下落と在庫調整にともなう採算悪化が重なって大幅な損失を計上しておりましたことから、営業利益以下の各利益項目は大幅な増益となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は89億68百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益は2億75百万円（前年同期は6億8百万円の営業損失）、経常利益は3億31百万円（前年同期は5億79百万円の経常損失）、四半期純利益は2億39百万円（前年同期は14億68百万円の四半期純損失）となりました。

#### 「メモリ部門」

メモリ部門の売上高は6億1百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

メモリモジュールは、販売は伸び悩みましたが価格の持ち直しにより、売上高は前年同期を上回りました。フラッシュメモリ関連は、低価格帯のメモ리카ードの販売伸長と、USBメモリの価格の持ち直しにより、売上高は前年同期を上回りました。

#### 「ストレージ部門」

TVの販売不振による影響に加え、競合が進む中、採算重視の事業展開を徹底したことにより、主力の汎用ハードディスクの販売は伸び悩み、売上高は前年同期を下回る25億83百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

#### 「液晶部門」

企業や官公庁、教育機関等でのIT投資の復調とWindows XPの移行需要の立ち上がり等を背景に案件は増加し、売上高は前年同期を上回る18億72百万円（前年同期比48.7%増）となりました。

設置環境や利用シーンに応じて、きめ細かな需要に対応するために、サイズと拡張性、特徴ある映像技術からラインナップの充実を進める中で、新たに法人モデル全般に、眼に与える影響が懸念されている『ブルーライト』を低減する新機能の搭載を開始しました。

#### 「周辺機器部門」

新シリーズ投入により無線LANやNASを中心にしたネットワーク分野が伸長し、周辺機器部門の売上高は19億5百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

無線LANでは最新の超高速規格「11ac」対応ルーターのラインナップ拡充を図るとともに、移行時や初期設定時の煩わしさを解消する新たな機能やツールを整えました。NASでは法人向けに、常時稼働を前提とした運用面の課題とされる熱や振動への対策、電力の消費効率に優れた高信頼性ハードディスク搭載モデルの展開を開始、安心の長期3年保証を実現しました。また、スマートフォンで手軽に遠隔地をモニターできるネットワークカメラのシリーズ展開が順調に進みました。

マルチメディアおよびデジタル家電関連分野については、各種デバイスに対応した地デジチューナーの他、思い出の映像を記録したVHSや8mmビデオテープを手軽にデジタル化できるビデオキャプチャーの販売が堅調に推移しました。

「特注部門」

デジタル家電関連や通信事業者向け等へのOEM、特注品の販売を主とする当部門では、一部の大口案件が前連結会計年度末に一巡した影響から、売上高は5億5百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

「その他」

自社のラインナップを補完する電子部品ならびに他社ブランド商品の販売が好調に推移し、売上高は14億99百万円（前年同期比131.7%増）となりました。サムスン電子社製SSD（フラッシュメモリを使用した記憶装置）の販売が伸長した他、新たに平成25年4月より販売を開始したVerbatim®（バーベイタム）ブランドの光ディスクの販売が堅調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて7億26百万円減少し、259億28百万円となりました。これは、現金及び預金が10億52百万円、受取手形及び売掛金が3億95百万円減少し、たな卸資産が8億3百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて8億9百万円減少し、75億64百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が12億29百万円減少し、仕入債務等の決済資金として短期借入金が5億円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて82百万円増加し、183億63百万円となりました。これは、四半期純利益2億39百万円の計上、繰延ヘッジ損益が1億30百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績進捗を勘案し、平成25年8月8日付「平成25年6月期決算短信」にて公表しました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成26年6月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,794	3,742
受取手形及び売掛金	7,890	7,495
商品及び製品	5,018	5,579
原材料及び貯蔵品	1,526	1,768
その他	1,633	1,654
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	20,851	20,227
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,880	2,880
その他(純額)	942	938
有形固定資産合計	3,823	3,818
無形固定資産		
投資その他の資産	134	126
その他	1,858	1,767
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,846	1,755
固定資産合計	5,803	5,700
資産合計	26,654	25,928
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,791	4,561
短期借入金	—	500
未払法人税等	132	68
ポイント引当金	20	20
賞与引当金	—	142
その他	1,857	1,695
流動負債合計	7,801	6,988
固定負債		
役員退職慰労引当金	110	110
リサイクル費用引当金	324	331
製品保証引当金	98	95
その他	38	38
固定負債合計	572	576
負債合計	8,373	7,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,228	4,228
利益剰余金	10,771	11,010
自己株式	△1,000	△1,057
株主資本合計	17,587	17,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	65
繰延ヘッジ損益	521	390
為替換算調整勘定	△136	△133
その他の包括利益累計額合計	432	322
少数株主持分	261	270
純資産合計	18,280	18,363
負債純資産合計	26,654	25,928



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,740	8,968
売上原価	6,902	7,303
売上総利益	837	1,664
販売費及び一般管理費	1,445	1,389
営業利益又は営業損失(△)	△608	275
営業外収益		
受取利息	2	3
仕入割引	17	22
持分法による投資利益	13	37
助成金収入	14	—
保険配当金	—	20
その他	9	14
営業外収益合計	57	98
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	2	20
売上割引	19	19
その他	6	2
営業外費用合計	28	43
経常利益又は経常損失(△)	△579	331
特別損失		
投資有価証券評価損	12	—
会員権評価損	—	0
特別損失合計	12	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△591	330
法人税、住民税及び事業税	29	43
法人税等調整額	839	36
法人税等合計	869	79
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,461	251
少数株主利益	7	11
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,468	239

四半期連結包括利益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,461	251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	17
繰延ヘッジ損益	△40	△130
為替換算調整勘定	△10	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	0
その他の包括利益合計	△60	△110
四半期包括利益	△1,521	140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,527	129
少数株主に係る四半期包括利益	6	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。